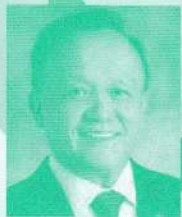


# Weekly Bulletin

2014-2015



RI会長  
デイリー C.K. ホァン  
(黄其光)



## 静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
伊藤洋一郎

## 第 2684 回例会

平成 26 年 9 月 18 日 天候 曇り

- 《司 会》 川口尚宜 君
- 《合 唱》 「それでこそロータリー」
- 《BGM》 「 King Size papa 他 」
- 《ゲスト》 なし
- 《ビジター》 望月紀久朗 君(清水中央 RC)

### 《本日のお祝い》

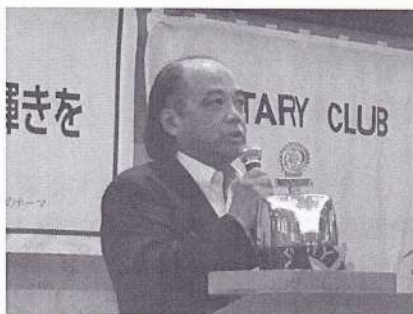
#### お誕生日

9月20日 氣谷雄太郎 君  
9月23日 相原 雄治 君

#### 結婚記念日

該当者なし

### 《会長挨拶要旨》



池波正太郎は『男の作法』というエッセイの中で「動物としての人間」について「人間は動物だからねえ。それを忘れちゃうから、どうも方々で間違いが起きてくるのだな。頭脳が比較的発達しているから高等動物になっているけど、肉体の諸器官というものは四つ足のときと変わらないのだよ。それを高等な生きものだと思ひ込んでしまっ、そうした社会をつくらうとしていくと、非常に間違いが起きてくるのだよ。」と語っています。そして、野生の動物たちは、研ぎ澄まされた本能と感覚によって、自分たちの世界と子孫の存続を図っていると述べています。同じようなことを元上野動物園園長の中川志郎さんが語っています。人間は、進化の過程で獲得してきた育児のノウハウを忘れ、人間は動物とは別であるという傲慢さを抱いてい

るということです。たとえば、動物たちの子育ては「生物的学習」と「生態的学習」によってなされていると言われています。「生物的学習」とは、母親の抱擁による安心を感じ、自分を守ってくれるのが母親であり自分が母親と同じ生きものであると刷り込まされ、安心感を手に入れることです。「生態的学習」とは、そのような親に対する信頼を基礎にして母親の行動を真似たいという衝動が起きる。そうして真似ながら生きる術を学んで行くことをいいます。すなわち、信頼がなければ絆は生まれえない性質のものなのです。ところが人間の場合には、この二つの「学習」の次に「体外脳」と呼ばれるものがあるといわれています。「体外脳」とは、個体が蓄えた知識や経験が、その個体の死と共に終わるのではなく、他の人に伝えるべく外部に集積していることをいいます。人間は、書物や他の教育などの自分自身の外にある“脳”によって後付で学習するというのです。

そして今や人間は、生物としての子育て、すなわち動物としての子育てを忘れて、テレビやスマホ、パソコンによって巨大化する体外脳に頼り、子育ての場面においてもそれに頼り、これに対応できない人間は人間ではないという風潮の中にいます。進化の過程で得た「生物的学習」と「生態的学習」の基礎の上に体外脳の働きがあることを忘れ、傲り、生物的学習や生態的学習の動物としての重要性を忘れて体外脳にのみ頼ろうとしています。まずは、生きものとしての生物的学習、生態的学習を大切に、次の体外脳の学習です。動物の世界では、親から子へという縦の繋がりにおいて大事なものが受け渡されています。中川元園長のお話では「飼育係によって育てられたサルはトラブルを起こし、サルとしての健全な発達を阻害される」ということです。人間が育てると生物的学習生態的学習を経ないからだといわれています。

そのようなことを考えながら、次のような池波正太郎の『男の系譜』の中の言葉を思い出します。「確かに世の中は、文明が発達して文化的になった。しかし人間の生業というものは変わらない。食べて、繁殖して、それで眠らなければならない。女性と男性の交わ

きてくるのだな。頭脳が比較的発達しているから高等動物になっているけど、肉体の諸器官というものは四つ足のときと変わらないのだよ。それを高等な生きものだと思ひ込んでしまっ、そうした社会をつくらうとしていくと、非常に間違いが起きてくるのだよ。」と語っています。そして、野生の動物たちは、研ぎ澄まされた本能と感覚によって、自分たちの世界と子孫の存続を図っていると述べています。同じようなことを元上野動物園園長の中川志郎さんが語っています。人間は、進化の過程で獲得してきた育児のノウハウを忘れ、人間は動物とは別であるという傲慢さを抱いてい

りがなければ成り立たない。そうして人間の動物的生活は充足される。人はその根本を忘れてはいけない。」という言葉です。現代社会において、私たち人間は、人間である前に生物、動物としての根本を忘れてはいけないと思います。皆様は、どのようにお考えでしょうか。

注意を。強盗事件や家庭不和の原因にもなりかねませんから。

以上、いろいろなケースの対処法をお話してきました。本日の話が、外国に行かれた際のご参考になれば幸いです。

《スマイル報告》

鈴木 洋平 君 今年の夏のフェリーは台風に泣かされました。台風 16 号が寄ってこないように祈念して、また長期欠席を反省してスマイルします。

氣谷雄太郎 君 本日はお誕生祝いを頂戴しました。ありがとうございます。単身生活が長いので誕生日を祝って頂くのは久しぶりです。本当にありがとうございました。

古橋 剛俊 君 来週の例会日の 25 日は私の 70 歳の誕生日ですが、例会を欠席しますので本日スマイルします。

佐橋 徹 君 先々週の例会で皆出席のお祝いを戴きました。大変遅くなってしまいましたが、スマイル致します。今年も皆出席を目指してまいります。ありがとうございました。

川崎 依子 君 9 月 14 日に父の米寿のお祝いをしました。子供、孫、ひ孫たち総勢 20 名が集い、賑やかで楽しい会となりました。父にはこれからも元気で長生きしてもらいたいと思います。願いを込めてスマイルします。

富井 一矢 君 てっぺん静岡で杉本さんを見たので…

伊藤洋一郎 君 新しい事務局のスタッフの女性のお名前は、山口さんといいます。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

曾根 正弘 君 11 月 20 日に静岡で開催する新事業創出フォーラムにお出かけいただきたいと思い、本日、お手許にチラシをお届けしました。よろしくお願ひいたします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
9/18	52(51)	44	7	-	-	-
9/11	52(51)	40	11	-	-	-
9/4	52(51)	43	8	5	3	94.12%

《会員卓話》

「私が被害にあった事件簿」



神野一成 君  
私は昭和 52 年以降 20 年に渡り年間 100 日以上原材料を求めて海外出張へ出かけたことから、多くの事件に遭遇しました。本日はその経験をお話しますの

で、海外に行かれる際 参考にして下さい。

最初は、ビザの問題です。旅行業者のビザは要らないという言葉信じて入国したら、商用の場合は必要であるとのこと。パニックになりつつも、係官とは最終的にお金で解決しました。次にパスポートをなくした時の話です。領事館へ行くと再発行には戸籍抄本が必要とのこと。早速、家内に手配をしてもらい 4 日で再発行してもらいました。このような状況を乗り切るためにも日頃から家庭円満に心掛けましょう。

旅行者が遭遇する被害で最も多いのは、スリ、置き引きの犯罪です。ヨーロッパのある国では、子供の犯罪は比較的罪が軽いのか、子供による集団スリを 2、3 回見かけました。アイスクリームやケチャップを服に付け、気を取られているうちに財布を盗るという手口もよく耳にします。最近ではわざとぶつかって持っていたワインボトルを落として割り、弁償を要求する手口もあるそうです。また、旅行バッグにも気を配って下さい。一見頑丈そうなスーツケースも、蝶番部分をパール等で壊せば簡単に開いてしまいます。私は破れにくいナイロンを使用したバッグをお勧めします。さらに気をつけて欲しいのは、現地にいる日本人です。日本語で話しかけ、気を許している隙に共犯の現地人が荷物を持ち去るという手口があります。外国で気さくに話しかけてくる日本人には十分注意して下さい。

最悪なケースはピストル強盗に遭うこと。当然、日本ではなかなか経験しないことです。この場合、絶対に抵抗せず、財布ごと現金を渡して下さい。また、このような事態を想定し、外国旅行中は、財布とは別に現金とパスポートを身に付けることをお勧めします。

最後に、気を付けていただきたいのが飲食に関わることです。国が変われば食事も変わりますし、衛生状態も詳しくは分かりません。水と油には十分注意して下さい。私は猛烈な下痢に襲われ、脱水症になり、中国の医者から帰国命令を受けたこともあります。また海外ということで羽目を外し、お酒の飲みすぎにもご